

Rotary International District 2820

下館ロータリークラブ会報

SHIMODATE ROTARY CLUB WEEKLY REPORT 2022-23

第 02606 号 発行日 令和 4 年 8 月 3 日



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



イマジン
ロータリー

ジェニファー・ジョーンズ R I 会長

本日のプログラム

研究会報告

国際奉仕・青少年奉仕

次週のプログラム

通常例会

会長／潮田 武彦 副会長／早瀬 浩一 幹事／神山 芳子 会長エレクト／宮田 憲一

例会 毎週水曜日 12:30 ダイヤモンドホール (〒308-0847 茨城県筑西市玉戸1053-4 ☎0296-28-8511)

ホームページ <http://www.shimodate-rc.gr.jp> Eメール shimodate@ri2820.jp



前例会報告 第2986回 2022/7/27日(水)

会長挨拶

潮田武彦 会長



コロナウイルスの発生状況が、ここ1カ月で、急拡大して、今年の3月ごろの一番のピークの2倍くらいの数値になっています。茨城県もなかなかゼロにならない中、また感染数が急拡大しています。下館RCでは理事会で、例会の中止は、緊急事態宣言が出たときという判断にしております。ワクチンの3回接種が進んでいるのか、重傷者と死亡者が少ないということで緊急事態宣言の発令を遅らせているのか？わからないのですが、茨城県の7月25日のデータでは、25日の新規陽性者数が1947名、現在の入院者数294名、重傷者数2名、死亡者数2名、病床稼働率33.8%となっています。病床数もまだ余裕があるようで安心しましたが、念には念を入れて、本日より例会の方も短縮例会にして様子を見てみます。気持ち的にコロナ慣れしてしまった気がしますが、今一度、ソーシャルディスタンス、マスク、うがい手洗い、アルコール消毒を徹底させて、楽しくロータリー活動ができるようお互いに気を付けましょう！

先週の土曜日に国際奉仕研究会が開催され、根岸国際奉仕委員長が、「このゆびとまれ」事業の発表をされました。素晴らしい発表だったと宮田さんから聞きました。そして次の日も青少年奉仕研究会では、根岸会員は、地区青少年奉仕委員として司会を担当されました。連日、お疲れさまでした。私も青少年奉仕研究会に十数年ぶりに参加してきました。

青少年奉仕研究会では、インターアクトの高校生の発表がどの学校も素晴らしかったです。コロナ禍ですが、工夫をして奉仕活動をされて

いる姿にはとても感動しました。特に印象的だったのは、日立港RC提唱の茨城キリスト高校インターアクトが活動された、茨城キリスト大学にはウクライナ人の留学生がいて、その方の留学支援のための募金活動を行ったという報告でした。ウクライナは戦時下で大変な状況です。そんな中、遠く離れた日本での留学生生活は、本当に大変な状況だと思います。そんな支援活動をしている高校生の姿に改めて感動しました。もっと身近なところにも目を向けることが大切だと改めて気づかされました。

本日は、この後の卓話の時間で、財団委員会・社会奉仕委員会合同研究会に、お仕事のために欠席された葉委員長・永井委員長の代わりに出席してきた私の方で報告させていただきます。

本日もよろしくお願いします。

幹事報告

神山芳子 幹事



- 茨城県青少年育成協会より定時総会報告書 受理
- 茨城県西地方ユネスコ協会協賛金のお願い 受理
- My Rotary 代理登録と代理管理委任状
幹事が個別に説明し手渡し

ロータリー財団社会奉仕委員会 合同研究会報告

潮田武彦 会長

去る7月16日、ダイヤモンドホールにてロータリー財団社会奉仕委員会合同研究会がハイブリッド方式で開催されました。

講演「ロータリー財団の変化」

第一地域ロータリー財団地域コーディネーター
飯村 慎 様 (宇都宮 90RC)



- ・ヒューストン大会 参加者上位国 ①アメリカ
- ・ ②フィリピン③日本
- ・ 日本人朝食会 250人参加
- ・ウクライナ支援
- ・ロータリー財団 日本の目標寄付金額
- ・ 1人180ドル（内、ポリオ30ドル）
- ・ローターアクトが来年度の1月より人頭分担金の負担が始まる
- ・地区補助金へのローターアクトの参加

講演②「世界ポリオデーに向けて」

第一地域R財団地域コーディネーター補佐梶原等様（千葉RC）

- ・ロータリーのポリオ活動の歴史
- ・1979年9月29日、フィリピンのマカティのグアデルーベ・ヒエポ地区にある保健センターで、ボランティアによる児童への経口ポリオワクチン投与が行われました。マニラ都市部でのこの活動は、ロータリアンとフィリピン保健省の代表者が手配しました。
- ・2030年までに23億ドルかかる。ポリオワクチンを接種する人件費にお金がかかる

土浦RC 地区補助金活用事業

「ロータリーの台所」（体験型こども食堂）

- ・RC、RAC、米山奨学生、地域の学生たちが、高齢者福祉施の
- ・利用者（リハビリのため）と一緒に畑で野菜作りを行った
- ・子供たちとピザ窯を作り、収穫した野菜でピザを作った

「ウクライナでの活動報告」

ロータリー財団総括委員長 新井和雄様

ウクライナ情勢に関する国際ロータリーからの声明

- ・ウクライナと世界の人びとにとって、痛ましく悲惨な状況となっています。
- ・ロータリーは、ウクライナにおける状況悪化と、人命の喪失および人道的苦難が深刻化していることを深く懸念しています。ウクライナに対する軍事行動が続けば、地域の荒廃を招くだけでなく、欧州と世界にも悲惨な結果が広がる恐れがあります。
- ・世界最大の人道支援団体の一つとして、ロータリーは「平和」を世界的使命の礎としてきました。私たちは、国際社会とともに即座の停戦、ロシア軍の撤退、および対話を通じた対立解決のための外交努力の再開を求めます。
- ・過去10年間、ウクライナ、ロシア、および近隣諸国のロータリークラブは、国の違いを超えて、親善を推進し、戦争や暴力の被害者への支援を先導する平和構築プロジェクトに積極的に取り組んできました。私たちは今、この悲劇的な出来事に直面しているウクライナのロータリー会員や人びとのために祈ります。国際ロータリーは、救援物資や支援を提供し、ウクライナ地域に平和をもたらすために全力を尽くします。

国際ロータリー第2820地区のウクライナ支援

- ・昨年当地区がプロジェクトホストとなった「ロータリー奉仕デー」「地球環境保全グローバルプロジェクト」に、ウクライナではルーツのロータリークラブ(DG-Bondarenko)が地域ホストとなり、市民と共に参加してくれました。
- ・その友人達から送られてくるSOSに対し、当地区は行動を開始します。我々国際ロータリー第2820地区は、第2820地区（ウクライナ）、国境なき医師団、UNHCRなど、関係団体が開始した、医療用品・衛生用品・飲料水・食料・生活用品の支給や医療活動などの人道支援活動に義捐金を送ります。
- ・つきましては地区内クラブの皆様はもとより、広く義捐金を募ります。
- ・皆様の善意をお待ち申し上げます。

2820地区のウクライナ緊急支援

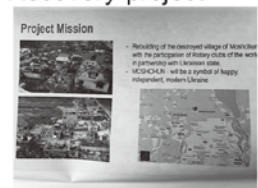
- ・資金調達 2820地区内クラブからの寄付：約200万円
- ・ 地区大会での個人からの寄付：約36万円
- ・支援内訳
- ・①ロータリーボランティアセンターの運営
- ・ D2232 ラキフRC&2820地区 JOINT PROJECT
- ・ 生活物資の配給
- ・ 10,000ドル
- ・②国際機関・団体への寄付
- ・国境なき医師団、国際難民高等弁務官事務所（UNHCR）
- ・約2000ドル
- ・③ロータリー財団災害救援基金への寄付
- ・10,000ドル

District Designated Fund地区財団活動資金（DDF）から

- ④国内避難民の為に仮設住宅の設置（申請中）
- ロータリー財団災害救援基金の活用（地区の負担は0）

モシュチュン（キエフ州）Recovery project

- ・ウクライナ政府と
- ・世界中のロータリークラブが
- ・協力して、破壊された
- ・モシュチュン村を再建する。



- ・モシュチュン村は、ウクライナの
- ・平和と独立のシンボルとなります。

- ・第一段階：寒冷期前の一時的な住まいの確保

- ・第二段階：破壊されたモシュチュンの完全復興

First step

仮設住宅（モジュラーハウス）約300棟

モジュラーハウス1棟とその設置、備品、家具などの費用 - 約12500米ドル

もう既に、150棟が建設されている

Second step 完全復興

- ・世界的に有名な建築家とのパートナーシップにより、モシュチュンの地を未来のシンボルにします。

地区補助金事業申請状況について

R財団委員会 地区補助金申請担当 佐川真治様（水戸東）

申請状況	
・申請クラブ数	2820地区55クラブ中 55クラブ
・申請事業数	56事業（地区申請事業1）
・環境保全事業数	20事業
・事業総額	23,587,702円
・希望補助金額	7,525,532円（事業総額31.9%）
確定金額	7,516,861円

会員基盤向上セミナー報告

堀江 勤 委員長



去る6月19日、ホテルグランド東雲にて会員基盤向上セミナーがハイブリッド方式で開催されました。

会員増強はロータリーの重要な課題
会員一人一人の協力が求められます



クラブの現状を評価する

まずは、会員と地域社会の人々の視点からクラブを客観的に見つめ、クラブの強みと改善点を考えてみましょう。

①会員・クラブの視点から

- 会員が活動が続ける理由、退会する理由は何か。
- 会員の多様性はあるか。
- 職業分類のバランスはどうか。
- クラブで活用できるデジタルコミュニケーションはあるか。
- クラブの存続性、革新性、柔軟性はどうか。

②地域社会の視点から

- 地域社会におけるクラブの認知度はどうか。
- 会員以外の人々が抱くクラブのイメージはどうか。
- 地域社会の現状と会員構成とを比較して、違いがあるか。

クラブのビジョンを描く

クラブが近い将来(3～5年後)に「こうありたいと望む姿」を思い描いてみましょう。

①「こうありたい」姿とは何か

- クラブの強みや得意とすることは何か。
それをどう生かせるか。
- クラブの弱みや不得意とすることは何か。
- 地元の人々に一番知ってもらいたいクラブの活動は何か。

②どのように行動するか

- 戦略的な優先事項を定める。すぐに導入できる変化は何か。
- ビジョン実現に向けた短期・長期目標を定める。
- 目標達成のために必要な計画を定める。

③戦略的優先事項の具体例

- より大きなインパクトをもたらす
- 参加者の基盤を広げる
- 参加者の積極的な関わりを促す
- 適応力を高める

入会への魅力を高める

- 入会候補者を見つける
 - 入会候補者へのアプローチ
 - クラブ制度の再検討
- 大切なこと 会員増強は会員の責務
- みんなでやる
 - 決して人任せにはしない
 - 一部の人に頼らない

スマイルBOX 鈴木健一 副委員長

- ▶潮田 武彦さん 本日、研究会報告させていただきます。宜しくお願いします。
- ▶神山 芳子さん 猛暑の中、皆さんご自愛ください。7月31日クリーン作戦、母子島でお待ちしています。
- ▶新井 利平さん コロナの終息を祈念して。
- ▶百目鬼博行さん コロナの終息を祈念して。
- ▶鈴木 健一さん 青少年・社会奉仕研究会報告、宜しくお願いします。
- ▶葉 章二さん 本日、研究会報告宜しくお願い致します。

本日の合計 9,000円 累計 92,000円

出席報告 鈴木健一 副委員長

会員数	出席数	欠席数	病欠	免除
24	15	5	1	3

■メイクアップ（敬称略）

- 7月23日 国際奉仕研究会
宮田憲一・根岸千聡
- 7月24日 青少年奉仕研究会
潮田武彦・宮田憲一・根岸千聡
- 7月26日 下館さくら衛星ロータリークラブ
（初例会参加）
早瀬浩一



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理規準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理想を实践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。